

2021年度 森林総合研究所 公開講演会

伝えたい！森の中の放射性セシウム

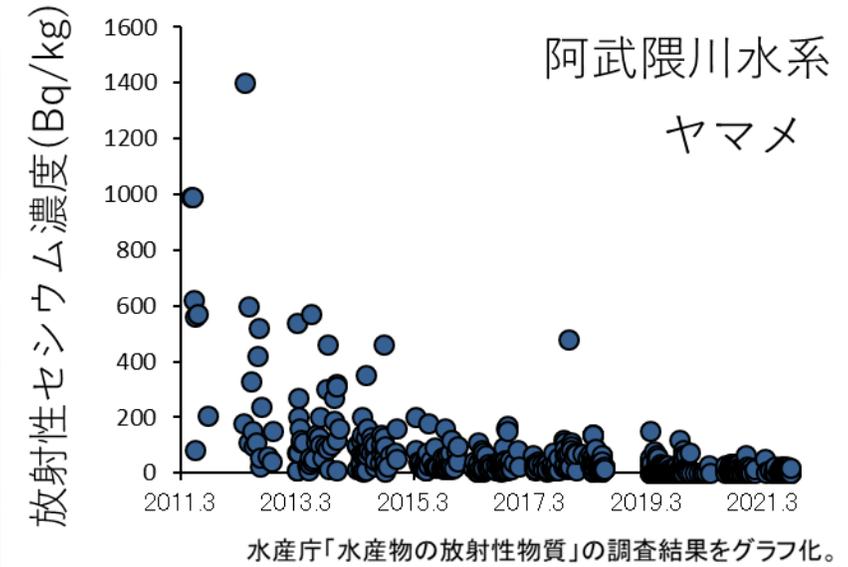
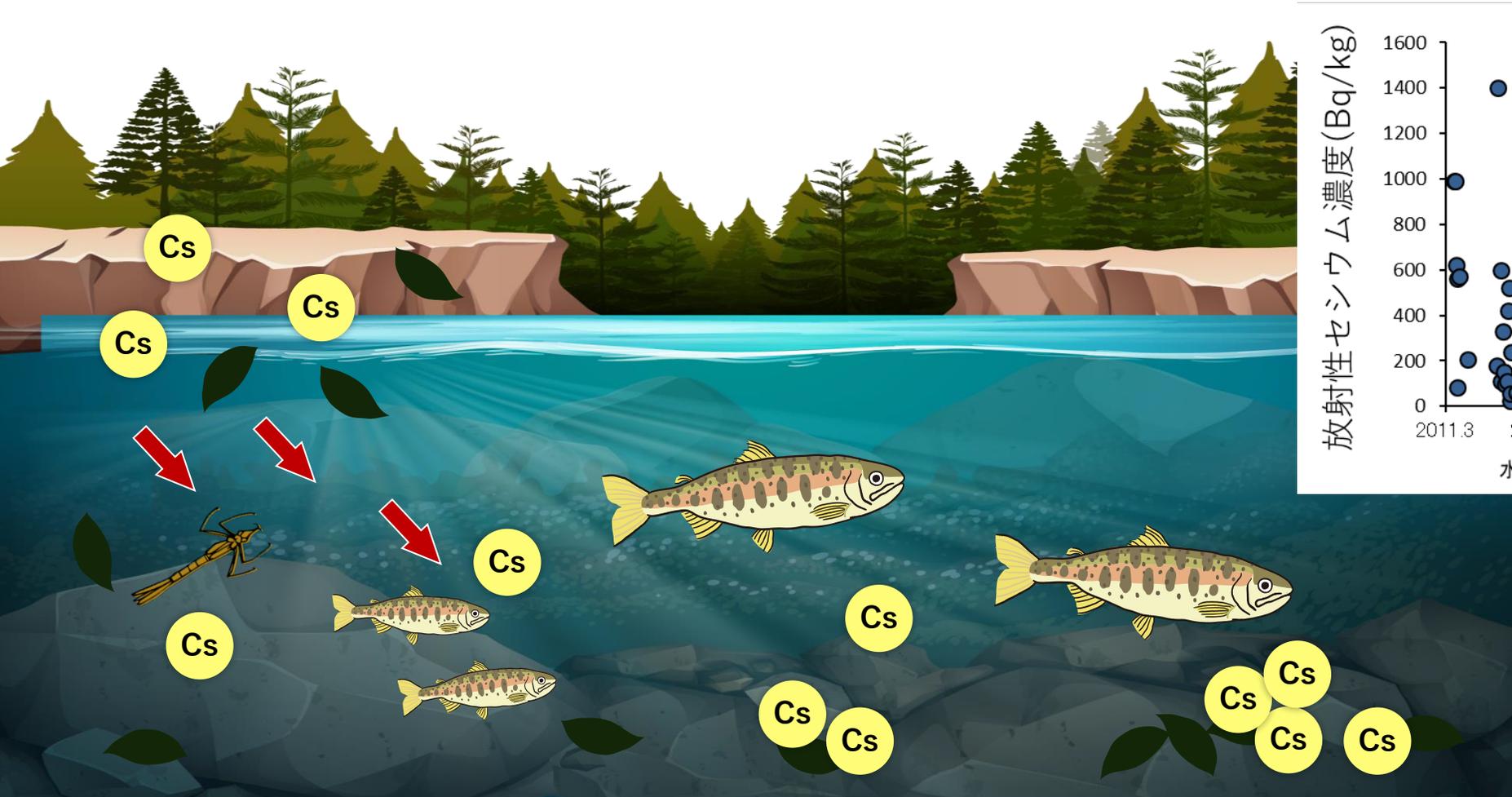
～10年で明らかになったこと～

渓流域における放射性セシウムの推移 ～水生生物を中心に～

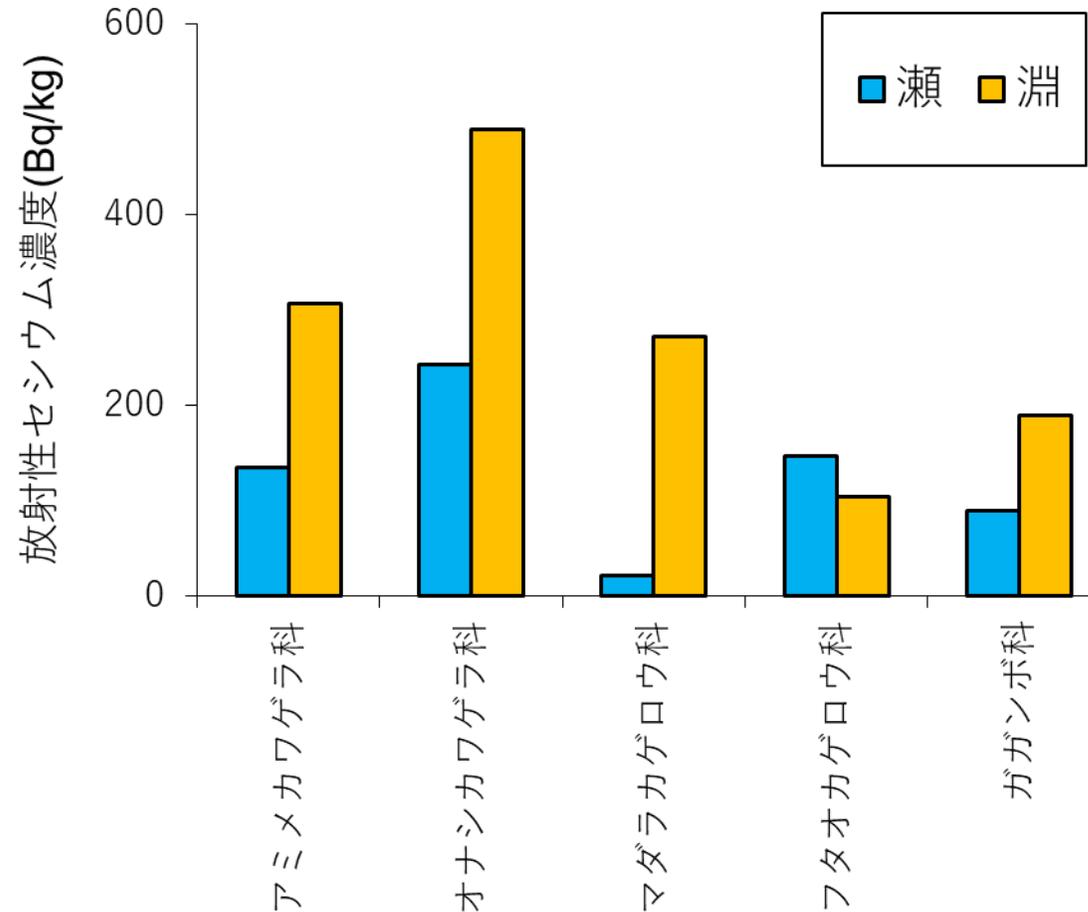
関西支所 吉村 真由美



放射性セシウムは 山域から溪流にもたらされ、溪流の様々な場所を汚染する

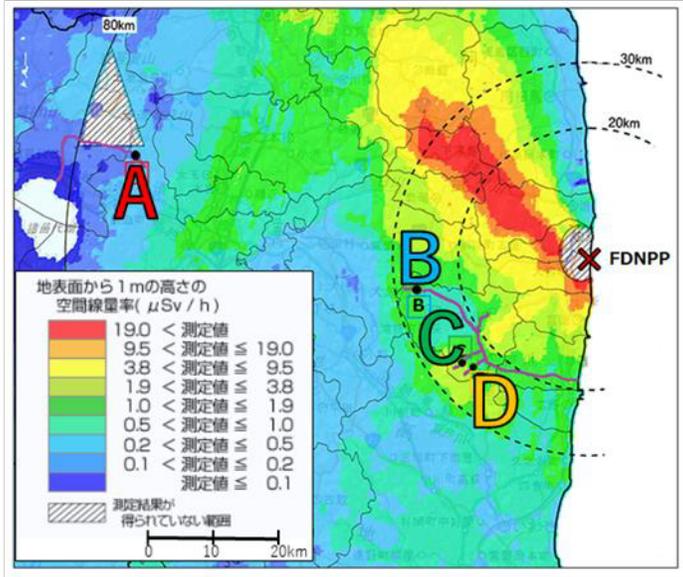


同じ分類群でも生息場所によって異なる放射性セシウム濃度

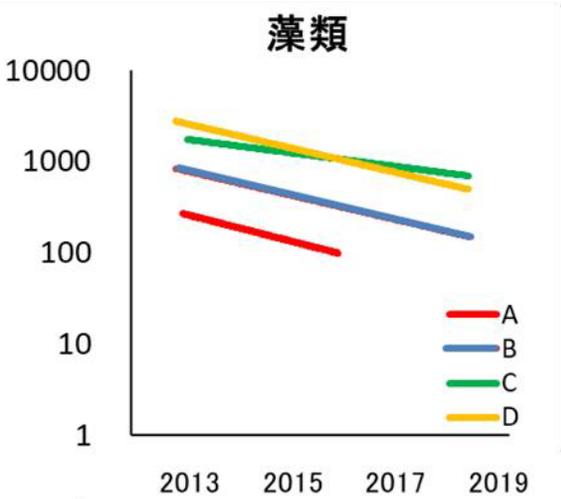
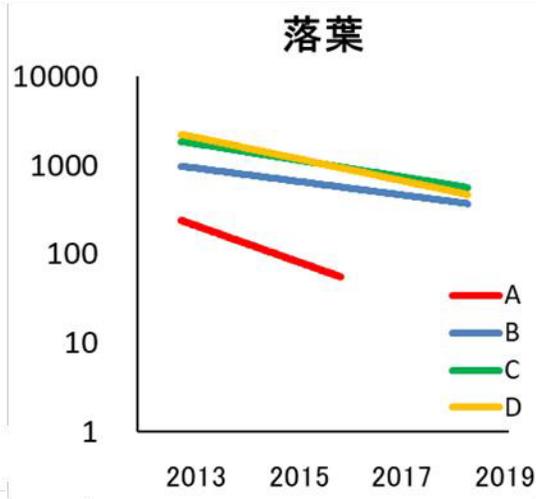
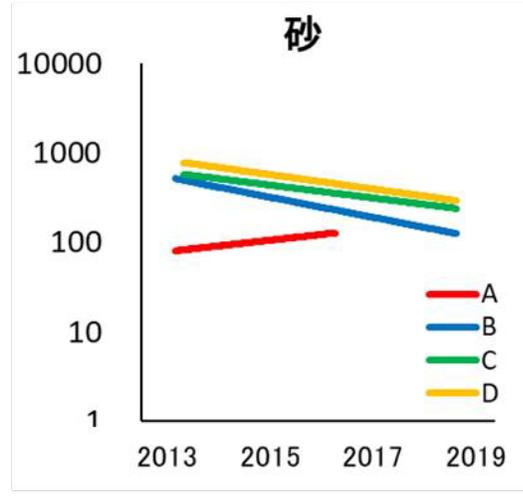


淵に生息する個体群のほうが瀬に生息する個体群より放射性セシウム濃度が高い

溪流中の砂(2mm以下)、落葉、藻類の放射性セシウム濃度



放射性セシウム濃度(Bq/kg)



2012年10月, 航空機モニタリングデータ

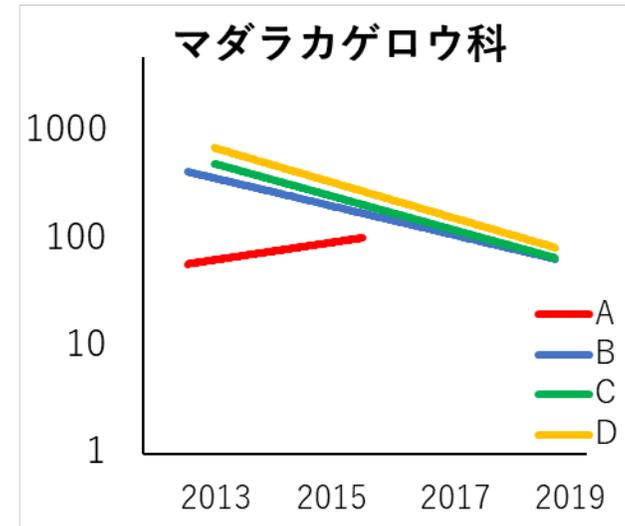
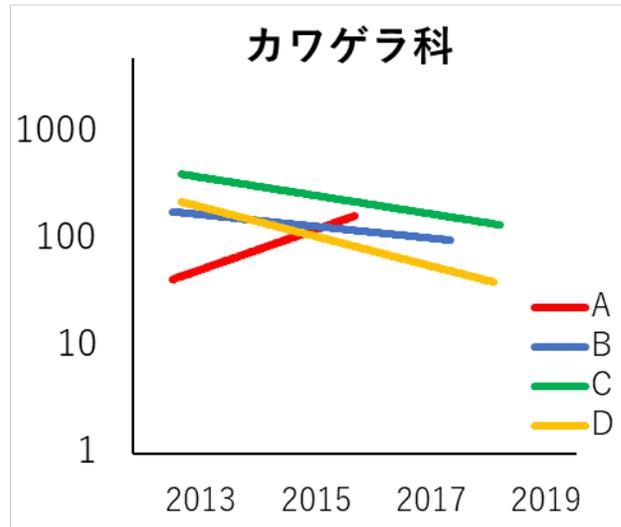
落葉や藻類の放射性セシウム濃度：年々減少

**砂の放射性セシウム濃度：全体として汚染度は低いが、
空間線量率の低いA地点では上昇傾向**

水生昆虫の放射性セシウム濃度推移



放射性セシウム濃度(Bq/kg)



全体として水生昆虫の汚染度は低いですが、空間線量率の低いA地点では上昇傾向

わかったこと

- 生息場所（流速）によって放射性セシウム濃度は異なる
- 放射性セシウム濃度は年々減少しているが、空間線量率が低いところでは減少程度が鈍化しており、砂や水生昆虫では上昇傾向がみられる
- 流域の汚染された砂・落葉等が継続的に溪流にもたらされる結果、溪流内の放射性セシウム濃度が下がりきらず、生物界から排泄されにくくなっているからと思われる
- さらに詳しく知りたい方は、Yoshimura M, Akama A (2020) Difference of ecological half-life and transfer coefficient in aquatic invertebrates between high and low radiocesium contaminated streams. Scientific Reports、10:21819 をご覧ください